

行事予定等

※詳細は別添資料をご覧ください

- 1) 取手市は「いばらきダイバーシティ宣言」に登録します (11/1)・・・13
担当：市民協働課 内線 1172

- 2) 第12回とりで観光フォトコンテスト作品を募集します (11/1～)・・・16
担当：取手市観光協会事務局 (産業振興課内) 内線1443

- 3) 取手市文化祭11月2日から3日間開催 (11/2～)・・・・・・・・・・18
担当：文化芸術課 内線1291

- 4) 取手市立寺原小学校で「ふれあいデー」開催 (11/2)・・・・・・・・・・19

- 5) 国登録文化財「旧渡辺甚吉邸主屋」7回目の一般公開実施 (11/4)・・・20
担当：埋蔵文化財センター 内線3130

- 6) ゆるスポーツ体験会開催 (11/9)・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
担当：健康づくり推進課 内線1221

- 7) 第26回「女と男ともに輝くとりでの集い」を開催(11/10)・・・25
担当：市民協働課 内線 1172

- 8) 「南極生活で学んだ食の大切さ」のセミナーを行います (11/12)・・・27
担当：産業振興課消費生活センター 内線 1446

- 9) みんなで体験しよう「消防フェスタ」(11/17)・・・・・・・・・・29
担当：消防本部 予防課 内線 3204

- 1 0) 忘れ物傘アートワークショップ (アートアンブレラ) (11/17)・・・3 3
担当：文化芸術課 内線 1 2 9 1
- 1 1) 出張授業「馬はともだち サラブレッドと親しもう」(11/21)・・・3 5
担当：桜が丘小学校 8 2－7 7 9 1
- 1 2) 取手藝祭 2024 が 11 月 23 日(土)・24 日(日)に開催 (11/23.24)・・・3 6
担当：文化芸術課 内線 1 2 9 1
- 1 3) 六郷小学校で本格的な「能楽」の舞台を鑑賞
児童、保護者、地域と一緒に味わう「芸術の秋」(11/25)・・・3 9
担当：六郷小学校 8 2－2 0 4 1
- 1 4) 令和 5 年度取手市長賞受賞者による記念演奏会 (箏曲・作曲)
【箏曲三重奏】【打楽器ソロ・バンドアンサンブル】(12/7)・・・4 0
担当：文化芸術課 内線 1 2 9 1
- 1 5) ひだまりのひマルシェ 2024 in ICI Camp (12/7)・・・・・・・・・・4 2
担当：文化芸術課 内線 1 2 9 1



PRESS RELEASE

令和6年10月29日
取手市総務部市民協働課

取手市は「いばらきダイバーシティ宣言」に登録します

取手市の男女共同参画推進月間である11月1日に登録します

取手市は、第六次取手市総合計画「とりで未来創造プラン2024」において、「多様性を認め合う平和な社会」を重点施策の一つに掲げ、取り組みを進めているところです。このたび、茨城県が推進する「いばらきダイバーシティ宣言」の趣旨に賛同し、いち事業所として宣言への登録を行うことといたしました。今後は、この取組を市内事業所に広げ、市全体で「ダイバーシティとりで」の実現を目指してまいります。

■いばらきダイバーシティ宣言とは

茨城県では、性別等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現に取り組むため、県内の経済団体、業界団体等とともに「いばらきダイバーシティ宣言」を令和3年7月に発表し、趣旨に賛同し宣言する企業・事業所・団体等を募集している。

■県内企業・自治体の宣言状況（令和6年9月末時点）

- ・総宣言企業数：326件（うち、宣言自治体数11件）
- ・取手市内企業：3件

■スケジュール

- ・令和6年11月1日（宣言）⇒ホームページ掲載 ※男女共同参画推進月間
- ・令和6年11月15日 広報とりで掲載

以上

問い合わせ先	取手市総務部市民協働課男女共同参画係 担当者：竹屋 電話：0297-74-2141（内線1172） E-mail：s-shien@city.toride.ibaraki.jp
--------	--



いばらき

2021年7月2日 キックオフ

ダイバーシティ宣言 企業・事業所・団体等募集

茨城県では、活力があり、持続可能な地域社会をつくるため、関係団体等と共に「いばらきダイバーシティ宣言」を公表しました。趣旨にご賛同いただき、宣言をしてくださる企業・事業所・団体等を募集します。

ダイバーシティって何？

ダイバーシティとは、「多様性」のことです。
性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会と言います。

キックオフセレモニー宣言団体等 (50音順)

茨城県医師会、茨城県看護協会、茨城県経営者協会、茨城県建設業協会、茨城県歯科医師会、茨城県社会福祉協議会、茨城県商工会議所連合会、茨城県商工会連合会、茨城県女性団体連盟、茨城県地域女性団体連絡会、茨城県中小企業団体中央会、茨城県農業協同組合中央会、茨城県保育協議会、茨城県薬剤師会、茨城県老人福祉施設協議会、(株)カスミ、日本労働組合総連合会茨城県連合会

茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課
ダイバーシティ推進センター「ぽらりす」
TEL 029-233-3982
E-mail sankaku@pref.ibaraki.lg.jp
HP <https://www.diversity-ibaraki.jp>

詳細、登録は
こちらから
「ぽらりす」HP



いばらきダイバーシティ宣言

茨城県では、活力があり、持続可能な地域社会をつくるため、令和3年7月2日に県内の関係団体等と共に「年齢や性別、国籍や障がいの有無、性的指向などにかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会」を実現することを目的に「いばらきダイバーシティ宣言」を発表しました。多様性を認め合う社会の実現は、県の取り組みだけではなく、県内の企業や団体、県民が、広くダイバーシティの考えを共有することが重要です。この趣旨にご賛同いただき、宣言をしていただける企業・事業所・団体等を募集します。

基本理念に基づき、各企業・事業所・団体等で具体的な取り組みについて宣言してください。

【基本理念】

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

【宣言の例】 ※各企業・事業所・団体等が、実情に応じて個別に定めてください。

- 年齢や性別、国籍、障がいの有無等どのような立場の人も「等しく」扱われ、それぞれが持つ個性、強みを発揮し、だれもが活躍できる環境をつくります。
- あらゆる「価値観」「考え方」「ライフスタイル」「能力」「経験」などの違いを大切にし、働き方の見直しや働きやすい環境の整備を進めます。
- 様々な機会を生かして、多様性を生かす風土づくりに向けた意識改革を促すとともに、新しい価値を創出できる人材を育成することで、ダイバーシティ社会の実現に貢献します。

宣言の登録方法

※インターネットでのご登録が難しい場合は、個別に対応いたします。下記連絡先（ぼらりす）にご連絡ください。



茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課
ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」
TEL 029-233-3982
E-mail sankaku@pref.ibaraki.lg.jp
HP <https://www.diversity-ibaraki.jp>



登録はこちらから
「ぼらりす」
ホームページ



PRESS RELEASE

令和6年10月29日
取手市観光協会（市産業振興課内）

第12回とりで観光フォトコンテスト作品を募集します

募集期間：令和6年11月1日（金）～令和7年2月28日（金）消印有効

取手の観光を題材にした写真を対象に「とりで観光フォトコンテスト」を開催します。入賞作品は令和7年3月24日（月）から3月28日（金）まで藤代庁舎及び令和7年4月2日（水）から4月8日（火）まで取手駅ギャラリーロードで展示される予定です。

- 募集テーマ：市内の名所・旧跡や四季の風景、イベント等を題材とし、取手市の観光を表現した写真。
- 応募資格：アマチュアであれば誰でも応募できます。
- 審査：取手市観光協会が選任した審査員により審査を行います。
- 発表：令和7年3月中旬に取手市観光協会のHPで公表します。また、入賞者には直接通知します。
- 応募規定
- ・令和6年3月以降に取手市内で撮影した未発表の作品に限ります。
 - ・サイズがA4または四つ切のプリントとします。
 - ・単写真に限り組写真は不可とします。
 - ・応募作品は一人10点までとします。
 - ・作品の裏面に、応募票をテープで貼付してください。
 - ・応募作品の著作権は、撮影者（応募者）に帰属します。
 - ・応募作品に人物が含まれているときは、被写体本人の承諾を得たうえでご応募ください。
 - ・肖像権の侵害等による責任は、主催者側では一切負いません。肖像権侵害等によるトラブルが生じたときは、応募者自身の責任と費用負担により解決していただき、違反があったときは入賞決定後でも取り消すことがあります。
 - ・応募作品については、応募者本人が撮影した作品に限り、他人の名前を使って応募した作品は失格とします。
- 作品の取り扱い：主催者は、入賞作品を主催者が催す展示の他、取手市のPR活動を目的とするデジタルメディアや印刷物に受賞者の許諾を要することなく、無償で使用し、加工する権利を持ちます。入賞者には、作品の原板（ネガ、ポジ、データ）を提出していただきます。
- 応募作品の取り扱いについては十分に注意しますが、万一の事故に対する



責任は負いかねます。

応募作品の返却希望者は、応募用紙に「返却希望」と明記し、必要額の切手を貼った返信用封筒を同封して応募してください。(ただし、入賞作品は返却いたしません。)

その他

: 入賞作品の展示期間は令和7年3月24日(月)から3月28日(金)まで藤代庁舎及び令和7年4月2日(水)から4月8日(火)まで取手駅ギャラリーロードで展示される予定です。



第11回フォトコンテスト最優秀賞「七五三」

問い合わせ先	取手市観光協会事務局（市産業振興課内） 担当者：中村、平山 電話：0297-74-2141（内線1443） E-mail：sansin@city.toride.ibaraki.jp
--------	---



PRESS RELEASE

令和6年10月29日
取手市政策推進部 文化芸術課

秋の恒例行事

取手市文化祭 11月2日から3日間開催

伝統芸能を中心に、日ごろ資質向上や文化の次世代への継承を志して活動している、取手市文化連盟による芸術文化の祭典「取手市文化祭」が、11月2日から3日間、取手市立市民会館・福祉会館を会場に開催されます。

邦楽、華道といった日本古来の芸能・文化だけでなく、ダンスや手芸といった市民芸術もあり、訪れた人の目を楽しませてくれます。今回で51回目を迎える歴史ある文化祭で、例年参加者来場者合わせて、3日間で5,000人を動員します。

【日程】

11月2日(土) 10:00~16:00 開会式・伎芸部・展示部・茶道部・盆栽チャリティー販売

11月3日(日祝) 10:00~16:00 伎芸部・展示部・茶道部・盆栽チャリティー販売・陶芸チャリティー販売

11月4日(月振休) 10:00~16:00 伎芸部・展示部・盆栽チャリティー販売

【類別】

伎芸部：日本舞踊・民舞・詩舞・箏曲・詩吟・三味線・尺八・ダンス

展示部：フラワーデザイン・編物・盆栽・華道(池坊)・陶芸・書道

茶道部：大日本茶道学会・表千家不白流宗家

【会場】

取手市立市民会館・福祉会館(取手市東1-1-5)

【主催】

取手市

取手市文化連盟

※取手市文化連盟(昭和47年8月1日設立)

会長：水野紀美子

加盟：33団体571人(令和6年6月時点)



問い合わせ先

取手市文化連盟 矢作(080-1056-4616)
市担当：取手市政策推進部文化芸術課 矢部
電話：0297-74-2141(内線1291)
e-mail：art@city.toride.ibaraki.jp



取手市立寺原小学校で「ふれあいデー」開催

PTAが主催し、保護者、自治会、企業が子どもたちのために、学びと遊びを提供

寺原小学校では、PTAが主体となり、保護者、自治会、企業が教室や体育館、校庭にそれぞれにブースを設置。コロナ禍で途絶えてしまった、大切な人と人との『交流』を取り戻すため、地域の大人たちが「寺原っ子」たちの成長を育むべく立ち上がりました。今年は11月2日（土）午前中、盛大に「ふれあいデー」を開催いたします。

本イベントは、寺原小学校PTA役員が中心となり企画・実施し、子どもたちが保護者や地域住民との交流を通して、学び・遊ぶ・分かる喜びを味わうことを目的に実施するイベントです。そして、地域全体で子どもたちを支える環境を整え、学校と地域社会の繋がりを強化することもねらいの一つです。昨年度設置された「学校運営協議会」を基盤とし、今まで以上に学校と地域が連携し、「開かれた学校」で子どもたちの成長を支えるシステムを構築しつつあります。

今年は、何と18ものブースが設置されます。1年生は保護者と、2～6年生は4～5人のグループを組み友達と、各ブースを回り学びや遊びを通して、保護者や地域の人との『交流』を図ります。昨年3年ぶりに復活したイベントが、さらにパワーアップしての実施です。

■寺原小学校「ふれあいデー」

- (1) 日時 令和6年11月2日（土）
9時30分～11時45分
- (2) 会場 取手市立寺原小学校
(取手市井野台5丁目14-1)
- (3) 全18ブース紹介



昨年度の様子

- ・射的 ・ミニシアター ・石鹸作り ・けん玉、こま回し、お手玉 ・体操体験
- ・フリースロー ・ネイル ・型抜き ・木工制作 ・しめ縄作り ・福笑い ・輪投げ
- ・水中メダル落とし ・スナックゴルフ ・配水管高圧洗浄 ・ブルーシート玉入れ
- ・スーパーボールすくい ・マジックショー

問い合わせ先	取手市立寺原小学校 担当者：川嶋 多寿（教頭） 電話：0297-72-0146 (FAX 0297-72-0147) E-mail：540405@sch.ibk.ed.jp
--------	---



PRESS RELEASE

令和6年10月29日

取手市教育委員会 埋蔵文化財センター（生涯学習課）

日本のチューダー様式住宅の傑作
国登録文化財「旧渡辺甚吉邸主屋」（取手市寺田）
7回目の一般公開が実施されます



「旧渡辺甚吉邸主屋」外観



意匠が見事な食堂の天井

- ・国登録文化財「旧渡辺甚吉邸主屋」の7回目の一般公開が実施されます。一般公開は不定期の開催で、次回は令和7年2月に計画中です。

主催：甚吉邸運営局（前田建設工業内）

所在地：取手市寺田 5270-8 他

（前田建設工業株式会社 ICI 総合センター（取手市寺田 5270）の敷地内）

日時：令和6年11月 26日（火）・27日（水）・30日（土）

いずれの日も、午前10時・午後1時・午後3時30分の3回

定員：いずれの回も20名（事前予約制）

予約方法：専用予約サイトからの申し込み

予約サイト URL <https://jinkichi-20241126-1127-1130.peatix.com>

予約期間：令和6年11月4日正午～11月18日正午（定員になり次第締め切り）

【国登録文化財「旧渡辺甚吉邸主屋」】

- ・日本のチューダー様式住宅の傑作と評価されている貴重な建造物で、令和5年2月27日に取手市内で初めて国の登録有形文化財に登録されました。
- ・昭和9年（1934）に、東京の白金台に建築され、令和4年（2022）、市内寺田の前田建設工業株式会社 ICI 総合センターの敷地内に、ガレージ・門塀と共に移築・復原されました。
- ・一般公開は昨年の6月に初めて実施され、今回は7回目の一般公開となります。

問い合わせ先

取手市教育委員会 埋蔵文化財センター（生涯学習課） 担当者：本橋

電話：直通 0297 - 73 - 2010 市役所代表 0297-74-2141（内線 3130）

E-mail：maibun@city.toride.ibaraki.jp

甚吉邸運営局（前田建設工業内） 担当者：上田

電話：0297-85-6171（代表）※一般の方の問合せ受付はEメールのみ

E-mail：ici@jcity.maeda.co.jp



旧渡辺甚吉邸 主屋(きゅうわたなべじんきちてい おもや) 概要

- 【指定区分】 国登録有形文化財（建造物）
【登録日】 令和5年2月27日
【所在地】 取手市寺田字原 5270-8 他
（前田建設工業株式会社 I C I 総合センター敷地内）
【所有者】 前田建設工業株式会社
【構造・形式】 木造2階建て、瓦葺、建築面積 225.4 m²
【建築年代】 昭和9年（1934）建築、令和4年（2022）移築
【建築物概要】

- 昭和9年（1934）建築。
- チューダー（テューダー）様式の洋風住宅。昭和初期の洋風住宅の技術・意匠の高度さを現在に伝える貴重な建築物で、我が国のチューダー様式住宅の傑作と評価され、取手市内初の国登録有形文化財となる。
- 設計者 遠藤健三（エンド建築工務所、あめりか屋、渡辺甚吉と同郷）
全体計画 山本拙郎（あめりか屋2代目社長）
細部装飾 今和次郎（考現学の提唱者、早稲田大学建築学科教授、「幻のデザイナー」）
- 岐阜県出身の実業家渡辺甚吉の私邸として、現東京都白金台に建築。以降、戦後はGHQに接収されたり、外国の大使公邸として利用されものの、大規模な改修はされず、今日まで現存した。

【移築・復原概要】

- 平成27年（2015）所有権移転、建築物の解体を決定
- 平成29年（2017）解体計画を知った建築史関係者が所有者に保存要望書を提出するなど、保存運動を行った。
- 平成30年（2018）建築史関係者からの働きかけで、前田建設工業株式会社が建築物や工作物を移築・復原保存することとなる。
- 令和2年（2020）9月 前田建設 I C I 総合センター内（取手市寺田）にて復原工事着工
復原方針は、指定文化財と同等の復原とした。
- 令和4年（2022）3月 旧渡辺甚吉邸主屋・ガレージ・門塀 建築当初（昭和初期）の姿に復原工事完了

国登録有形文化財〈取手市初〉

甚吉邸

一般公開のご案内



日時

令和6年 11月26日（火）
27日（水）
30日（土）

第1回 第2回 第3回

駅集合時間 10:00 | 13:00 | 15:30

（各回1時間半程度の見学時間を予定しております。自由なお時間にお帰りいただけます。）

定員：20名/回 各日程3回ずつ開催します。

申込期間：11月4日12:00申し込み開始～11月18日12:00
（満員になり次第締め切ります。）

※次回は2月の開催を予定しております。

参加費

無料



※音声案内がございますので、二次元コードがよめる端末とイヤホンをご持参ください。



※素足でお越しの方は、靴下をご持参ください。

集合場所



（弊社敷地内には駐車場、駐輪場はございません。来場の際は、公共交通機関をご利用ください。）

申込

URLまたは右のコードからお申込みください。二次元コード
URL：<https://jinkichi-20241126-1127-1130.peatix.com>



問い合わせ 甚吉邸運営局（前田建設工業内）
〒302-0021 茨城県取手市寺田5270
E-Mail:ici@jcity.maeda.co.jp

甚吉邸：旧渡辺甚吉邸とは？

甚吉邸は1934年、港区白金台に岐阜の名家・渡辺家の14代当主、甚吉の私邸として建てられた洋館です。日本の住宅の発展に大きく寄与した住宅専門会社の技師として活躍した、遠藤健三と山本拙郎、そして二人の恩師である今和次郎の3人の共作によって、建築当時の日本における住宅建築の最高水準の経験・知見が凝縮された歴史的建造物です。国内では数少ない本格的チューダー様式であり、一時期GHQに接収されたり、外国の大使公邸、結婚式場として利用されましたが大規模な改修はされず、それらの特徴ある装飾を含め当初からの姿がほぼ完全に保たれていたことが特徴です。近年になり一旦は甚吉邸も解体の危機を迎えましたが、建築史関係者らの保存運動や働きかけにより、2022年3月に前田建設工業ICI総合センター内に移築、復原されました。そして2023年2月27日、取手市初の国登録有形文化財に登録されました。

ご来場にあたって ・1934年竣工当時の姿を忠実に再現している為、スロープ、昇降機等は設置していません。
・文化財保護の観点から、未就学児の方はご遠慮ください。



PRESS RELEASE

令和6年10月29日
取手市 健康づくり推進課

ゆるスポーツ体験会開催

誰もが楽しめる「ゆるスポーツ」の体験イベントを開催します

ほどよく絶妙にゆるい、そして年齢、性別、運動神経に関わらず誰もが楽しめる「ゆるスポーツ」の体験会を、令和6年11月9日(土)、TAC 取手グリーンスポーツセンターで開催します。取手市では今回で3度目の開催となります。

本イベントは、多くの市民が運動(ゆるスポーツ)を体験することで健康増進また健康意識の向上を図るために実施します。

運動や健康づくりに関心がなかった方、運動するきっかけがなかった方等に対して、ゆるスポーツをきっかけに日々の健康づくりに取り組んでいただきます。

昨年度も同会場で開催し234名の方にご参加いただきました。

競技種目の説明については別紙(次ページ)のとおりとなります。

■「ゆるスポーツ」体験イベント

- (1) 日時 令和6年11月9日(土) 10時00分～12時00分(受付9時50分～11時30分)
- (2) 場所 TAC 取手グリーンスポーツセンター
- (3) 対象 どなたでも(小学3年生以下の子どもは、保護者同伴)
- (4) 費用 無料
- (5) 持ち物 室内用運動靴、外履き用靴袋

※当日取材をご希望の場合は、事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先	取手市 健康づくり推進課 担当者：櫻井 電話：0297-74-2141(内線1221) E-mail：wellness@city.toride.ibaraki.jp
--------	---

【別紙】 ○競技種目説明

■「ゆるスポーツ」とは

「ゆるスポーツ」は、年齢、性別、運動神経に関わらず誰もが楽しめるをコンセプトに開発されたスポーツです。今回のイベントでは、一般社団法人世界ゆるスポーツ協会が開発した「ゆるスポーツ」のうち、以下の5種目を体験できます。



■ オシリウスの塔

「しりもじ」でマルを描くと、画面の上からお尻が降ってくる競技です。

たくさんのお尻で画面を埋めたほうが勝ちとなります。



■ くつしたまいれ

ちらばったカラフルな靴下を、揃えて畳んでカゴに投げる競技です。

たくさんカゴに入れたチームの勝ちとなります。



■ トントンボイス相撲

プレイヤーの「トントン」という声に合わせてステージが振動し、紙相撲力士を動かす競技です。

紙相撲力士を倒したほうが勝ちとなります。



■ めくってパオーン

ぞうさんのポーズをとりながら、自分のチームの絵柄になるようにカードをめくる競技です。

たくさん表にできたチームの勝ちとなります。



■ 表情迷ドレー

自分の顔をカメラに映し、表情を使う個人メドレー。前を走る羊に合わせて表情を変え、羊と追いかけてっこをする競技です。

羊の群れにいち早く追いついたプレイヤーの勝ちとなります。